

提出締切：2009年1月15日

2006年度学内提案公募型研究推進プログラム「基盤的研究」 研究成果報告書
(研究期間：2007年2月～2008年12月末日まで)

研究代表者	所属機関・職名： 氏名：	産業社会学部・教授(社会学博士) 遠藤保子
研究テーマ	アフリカのダンスに関する身体動作データベース	

I. 研究計画の概要

研究の計画について、概要を記述ください。

I・1: ケニアとナイジェリアの代表的なダンスを対象にモーションキャプチャを利用してデジタル記録・編集した。
ケニアのダンス(ギリヤマ舞踊団): 1. ゴンダ (ギリヤマ族の結婚式のダンス) 2. オルト (弦楽器の一種であるがルオ族の結婚式のダンス) 3. スクティ (ルヤ族の葬式のダンス) 4. サンプル (サンプル族の戦争のダンス) 5. センゲンヤ (ディゴ族の結婚式及び葬式のダンス) 6. キクユ (キクユ族の割礼のダンス)。

ナイジェリアのダンス(ナイジェリア国立舞踊団): 1. カブル (ハウサ族の五穀豊穡、大地へ感謝するダンス) 2. バタ (ヨルバ族の雷の神シャングのダンス) 3. マリキ (カヌリ族の優雅さ、忠誠心を表現するダンス) 4. スワンゲ (ティブ族の五穀豊穡や子孫繁栄を祈るダンス) 5. イリアハ (イボ族の戦士のダンス) 6. エコンビ (エフィク族の海の女神をあがめる宗教的なダンス)

I・2: モーションデータをデータベース化し、3次元CGによってマルチアングル(正面、側面、頭上)表示できるようにした。こうすることによって、どのように踊られているのか等、ダンスの動作特性がより鮮明に把握することが可能になる。

I・3: ケニア(ナイロビ)とナイジェリア(ラゴス)の自然と社会・文化に関する映像撮影・編集。

I・4: 上記のデータをDVDに編集した。このような映像素材を作成することによって、ダンス動作が、自然・社会環境などとかかわって踊られていることが理解しやすくなる、と思われる。

II. 成果の概要

今年度の成果について、概要を記述ください。詳細は3ページに記述ください。

本研究で収録したケニアのダンスは、上記の7件で最終的には727メガバイト程度のDB、ナイジェリアのダンスは、上記6件であり、最終的には339メガバイト程度のDBとなった。作業のプロセスは、モーションキャプチャ作業(入力)とデータ編集作業、モーションデータのビューア作成、キャラクタモデル、シーンモデル、アニメーションデータの入力作業、DVD編集作業を行なった。さらに、これらのダンスの身体動作データ(モーションデータ)を対象に3次元CGを用いて利用者がマルチアングル(正面、側面、頭上)表示できるようにすることによって、ダンスの動作特性がより鮮明に把握できようになった。

次に、ナイジェリア特にラゴス、ケニア特にナイロビにおける風景をビデオカメラで撮影し、両者のビデオ映像の編集を行ない、上記の3次元CGとともにDVDを制作した。(詳細は、添付DVD1参照)。

また、ナイジェリアのみを対象に、上記のマルチアングルCGアニメーションとラゴスの映像(ラゴスにあるライトメモリアル小学校に通う児童たちの学校生活や自宅での生活場面)をもとにDVD素材『ワンダーランド探検隊ーアフリカの舞踊・音楽・社会ー』(指導計画付)を作成した。これは、開発教育/国際理解教育用の教材(対象は小学校高学年、授業は総合学習、授業時間は9時間)として利用するものであり、2008年度外務省主催開発教育/国際理解コンクール『世界を広げるはじめての一步』に応募した。その結果、本作品は、特別審査員賞を受賞した。(詳細は、添付DVD2参照)。

本ページはホームページに公開いたします。1ページに収めてください。